

「県議会の活動についてのアンケート及び地域医療についてのアンケート」 実施報告

11月27日（金）から12月7日（月）までの間、「県議会の活動についてのアンケート及び地域医療についてのアンケート」を実施いたしました。

結果、765名の方からご回答をいただきました。アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆さまには御礼申し上げますとともに、その結果について下記のとおりまとめましたので、ご報告いたします。

記

（1）アンケート実施期間

平成27年11月27日（金）～平成27年12月7日（月）

（2）アンケート回収状況

対象者数 1,211名

回答者数 765名

回答率 63%

（3）回答者属性

・性別 男性 403名、女性 362名

・年代別

20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
69人	155人	185人	161人	160人	35人
9.0%	20.3%	24.2%	21.0%	20.9%	4.6%

・地域別

桑名・員弁地域	四日市地域	鈴鹿・亀山地域	津地域	伊賀地域
93人	160人	111人	122人	57人
12.2%	20.9%	14.5%	15.9%	7.5%

松阪地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
90人	109人	23人
11.8%	14.2%	3.0%

（4）アンケート結果

次ページ以降のとおり

平成27年三重県議会10大ニュースの発表について

●「県議会の活動についてのアンケートQ1 三重県議会の活動に関する調査(10大ニュースの選定)について」

三重県議会10大ニュースは、県議会の取り組み状況を広く発信して県議会への関心を高めるとともに、県議会への参加意識の高揚を図る観点から、県民参加の手法を活用して選定を行っています。

<選定結果>

以下の取り組みを平成27年三重県議会10大ニュースとして選定しました。

- 障がい者雇用促進調査特別委員会の委員長報告(1月)
- 統一地方選挙の実施(4月)
- 県議会新体制の発足(5月)
- 「人口減少対策調査特別委員会」を設置(5月)
- 伊勢志摩サミットに向けて議員協議会を設置(6月)
- 「地方創生に関する政策討論会議」を設置(6月)
- 地方創生・人口減少対策に関し知事に提言(9月)
- 「三重県手話言語に関する条例検討会」を設置(10月)
- 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)中間案及び「次期の行財政改革取組」(素案)に関し知事に申し入れ(11月)
- 「みえ現場 de 県議会」を開催(11月)

<選定方法>

1. 10大ニュースの候補として18項目をリストアップ
2. 次の方法により投票を実施(11月27日～12月7日)
 - ・ 県議会ホームページからの投票
 - ・ 県議会傍聴者による投票
 - ・ e-モニターによる投票
 - ・ 県議会議員による投票
3. 正副議長が投票の結果を参考に総合的に判断して10大ニュースを決定

平成27年三重県議会10大ニュースの投票結果

No.	項目	平均 得票率	内訳					
			HP閲覧者・傍聴者		e-モニター		議員	
			得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
①	障がい者雇用促進調査特別委員会の委員長報告(1月)	26.2%	22	29.7%	165	21.6%	14	27.5%
②	統一地方選挙の実施(4月)	54.1%	43	58.1%	332	43.4%	31	60.8%
③	県議会新体制の発足(5月)	44.2%	42	56.8%	130	17.0%	30	58.8%
④	「人口減少対策調査特別委員会」を設置(5月)	44.7%	29	39.2%	246	32.2%	32	62.7%
⑤	議員任期4年間を見据えた議会活動計画を検討(5月)	19.4%	11	14.9%	76	9.9%	17	33.3%
⑥	伊勢志摩サミットに向けて議員協議会を設置(6月)	69.1%	42	56.8%	626	81.8%	35	68.6%
⑦	正副議長と女性議員の意見交換会を開催(6月)	22.8%	26	35.1%	75	9.8%	12	23.5%
⑧	「地方創生に関する政策討論会議」を設置(6月)	44.0%	29	39.2%	184	24.1%	35	68.6%
⑨	三重県議会「議員勉強会」を開催(7月、12月)	12.9%	9	12.2%	54	7.1%	10	19.6%
⑩	紀伊半島三県議会交流会議を尾鷲市で開催(7月)	20.0%	15	20.3%	139	18.2%	11	21.6%
⑪	「平成27年版成果レポート」に基づく今後の県政運営等に関し知事に申し入れ(7月)	22.7%	15	20.3%	81	10.6%	19	37.3%
⑫	地方創生・人口減少対策に関し知事に提言(9月)	48.9%	40	54.1%	229	29.9%	32	62.7%
⑬	公共政策大学院からインターンシップ実習生を受入れ(9月)	12.3%	12	16.2%	114	14.9%	3	5.9%
⑭	知事訪米により議事日程を変更(9月)	22.3%	23	31.1%	50	6.5%	15	29.4%
⑮	「三重県手話言語に関する条例検討会」を設置(10月)	39.1%	34	45.9%	96	12.5%	30	58.8%
⑯	「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)中間案及び「次期の行財政改革取組」(素案)に関し知事に申し入れ(11月)	28.3%	20	27.0%	98	12.8%	23	45.1%
⑰	「みえ現場de県議会」を開催(11月)	31.4%	25	33.8%	87	11.4%	25	49.0%
⑱	その他(自由記載)	3.2%	1	1.4%	19	2.5%	3	5.9%
得票総数		3,616	438		2,801		377	
投票者数		890	74		765		51	

※平均得票率：「HP閲覧者・傍聴者」、「e-モニター」及び「議員」の得票率の平均値

※得票率：得票数/投票者数

※e-モニター登録者数：1211人（回答率63.2%）

※傍聴者の投票者数：28人

※HP閲覧者の投票者数：46人

平成27年 三重県議会10大ニュース（概要）

1月	障がい者雇用促進調査特別委員会の委員長報告
<p>平成26年5月、本県の障がい者の雇用状況が都道府県別で全国最下位（当時）となっていたことから、県内の障がい者雇用の促進を図ることを目的として、「障がい者雇用促進調査特別委員会」を設置しました。</p> <p>委員会では、障がい者雇用の実態把握のほか、障がい者の継続就労や障がい者雇用に関するネットワークの在り方などについて調査を重ね、平成27年1月、企業支援の更なる充実をはじめ、障がい者の職場定着支援の充実や関係機関との連携強化などを図っていく必要があるとの委員長報告を行いました。</p>	



4月	統一地方選挙の実施
<p>4月の県議会議員選挙で新しく51人の議員が決まりました。任期は4年間です。</p> <p>県議会では、多様な県民の皆さんのご意見を持ち寄り、議会での議論に反映していきます。</p> <p>【会派の結成】 新政みえ23人、自民党18人、 鷹山3人、公明党2人、日本共産党2人、 能動1人、大志1人、草の根運動みえ1人</p>	



5月	県議会新体制の発足
<p>5月13日に役員選挙を行い、議長に中村進一議員（新政みえ、伊勢市選出）、副議長に中森博文議員（自民党、名張市選出）を選出しました。また、7つの常任委員会、人口減少対策調査特別委員会及び議会運営委員会の委員・正副委員長などの選出も行い、県議会の新体制が発足しました。</p>	



5月	「人口減少対策調査特別委員会」を設置
----	--------------------

人口減少対策について調査するため、「人口減少対策調査特別委員会」を設置しました。

若年層の転出超過など人口減少に歯止めがかからない状況にあることから、委員会では、持続可能なしごとの創出、地域への理解と愛着を育むキャリア教育、移住の促進などを中心に調査を行っていくこととし、7月から8月にかけて県内外調査を実施し、9月4日には中間報告として知事に申し入れを行うなど活動を続けています。



6月	伊勢志摩サミットに向けて議員協議会を設置
----	----------------------

伊勢志摩サミットの成功に向けて支援を行っていくため、趣旨に賛同する本県議会議員を構成員として、「伊勢志摩サミット三重県議会議員協議会」を設置しました。

協議会では、執行部をはじめ、様々なサミット関係者からの情報収集や情報交換、県民への積極的な情報発信、伊勢志摩サミット関連事業への積極的な参画など、サミット開催を全力で応援する取り組みを行っています。



6月	「地方創生に関する政策討論会議」を設置
----	---------------------

地方創生という喫緊の政策課題について、県民の視点に立った政策立案や政策提言に関する調査及び検討を行うため、議員15人で構成する「地方創生に関する政策討論会議」を設置しました。

本政策討論会議では、県が策定する「三重県人口ビジョン」と「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」が、より県民の視点に立ったものとなるよう、有識者からの意見聴取も行いつつ、集中的に討議を重ね、「地方創生に関する知事への提言」をとりまとめ、9月4日、知事に申し入れを行いました。



9月	地方創生・人口減少対策に関し知事に提言
<p>今年度、県議会は「地方創生に関する政策討論会議」と「人口減少対策調査特別委員会」を設置し、地方創生・人口減少対策に関し調査を重ねてきました。</p> <p>9月4日、これらの議論の成果を、政策討論会議からは「地方創生に関する知事への提言」としてとりまとめ、「基本的な在り方」、「人口減少対策」など5項目について知事に申し入れを行いました。</p> <p>また、特別委員会からは、重点調査項目に関するこれまでの議論をとりまとめ、「持続可能なしごとの創出」など3項目について知事に申し入れを行いました。</p>	



10月	「三重県手話言語に関する条例検討会」を設置
<p>三重県における手話の普及の施策の推進に関し、条例の制定に向けた調査及び検討を行うため、10月29日に議員13人で構成する「三重県手話言語に関する条例検討会」を設置しました。新規の条例制定をめざすものとしては、3年ぶりの検討会となります。</p> <p>手話は、聴覚障がいを持つ方々が、他人との意思疎通を図ったり、情報を得たりする際の手段として、音声言語と対等な「言語」であるということを踏まえつつ、障がいの有無に分け隔てられることのない共生社会の実現を目指して、条例の立案に向け検討していきます。</p>	



11月	「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」（仮称）中間案及び「次期の行財政改革取組」（素案）に関し知事に申し入れ
<p>11月10日、正副議長と各行政部門別常任委員会から知事に対し、「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」（仮称）中間案及び「次期の行財政改革取組」（素案）に基づく今後の「県政運営」等に関する申し入れを行い、長期的な視点を取り入れた重点取組を検討すること、より県民の視点に立った分かりやすい指標とすること、更には職員の意欲向上やコンプライアンス徹底などの取り組みには特に若い職員の意見を聞いて今後の取り組みを検討することなどについて提言を行いました。</p>	



11月

「みえ現場 de 県議会」を開催

県議会では、多様な県民の意見を県議会に取り入れるため、平成22年度から「みえ現場 de 県議会」に取り組んでいます。

今回は、公職選挙法の改正で選挙権年齢が18歳に引き下げられることから、テーマを「若者の声を県政に～地方創生と人口減少対策～」とし、11月11日、名張市の近畿大学工業高等専門学校で開催しました。同校の学生6人と近隣の高校生7人（一般公募）、議員13人が参加し、若者の県内定着促進や地域魅力向上などについて、意見交換を行いました。



<参考>

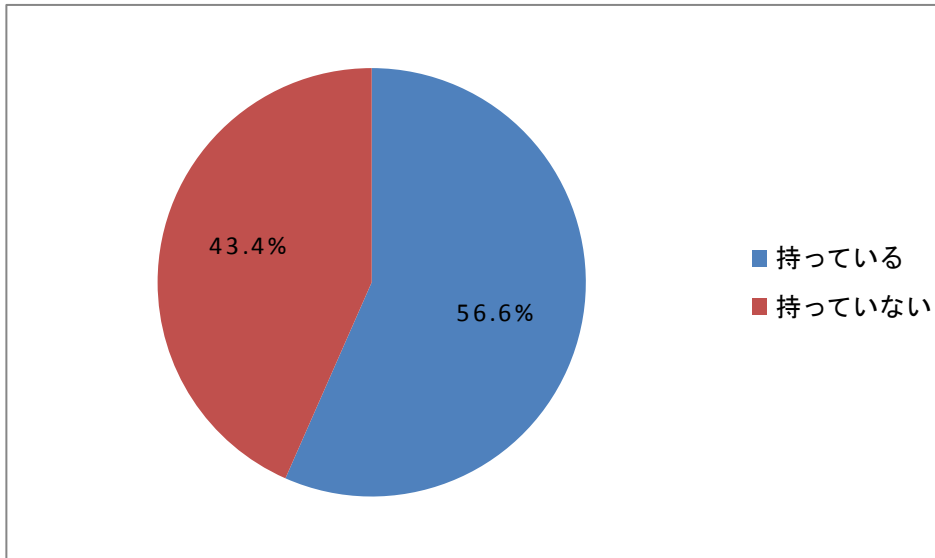
平成26年 三重県議会10大ニュース

- 「みえ現場 de 県議会」を開催(2月、11月)
- 三重県食の安全・安心の確保に関する条例(議員提出条例)の改正(3月)
- 政務活動費を減額(3月)
- 本会議、委員会等へのタブレット端末等の持込みに関する申合せを決定(3月)
- 「みえ県議会だより」のデータ放送を開始(4月)
- 議員の定数、選挙区等の見直しに関する条例の改正(5月)
- 「障がい者雇用促進調査特別委員会」を設置(5月)
- 三重県議会が議会改革度調査で第1位(6月)
- 「みえ高校生県議会」を開催(8月)
- 台風11号による被害への対応(9月)

地域医療についてのアンケート結果

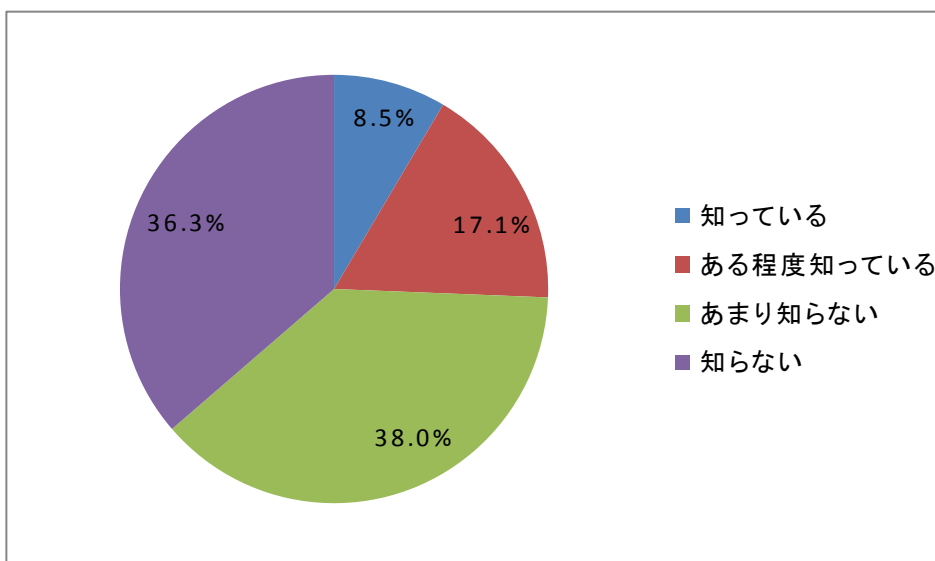
● Q 2 「かかりつけ医について」

かかりつけ医についてお持ちかどうかをお聞きしたところ、「持っている」と答えた方が 56.6%と過半数を超える結果になりました。



● Q 3 「医療機関の役割分担について」

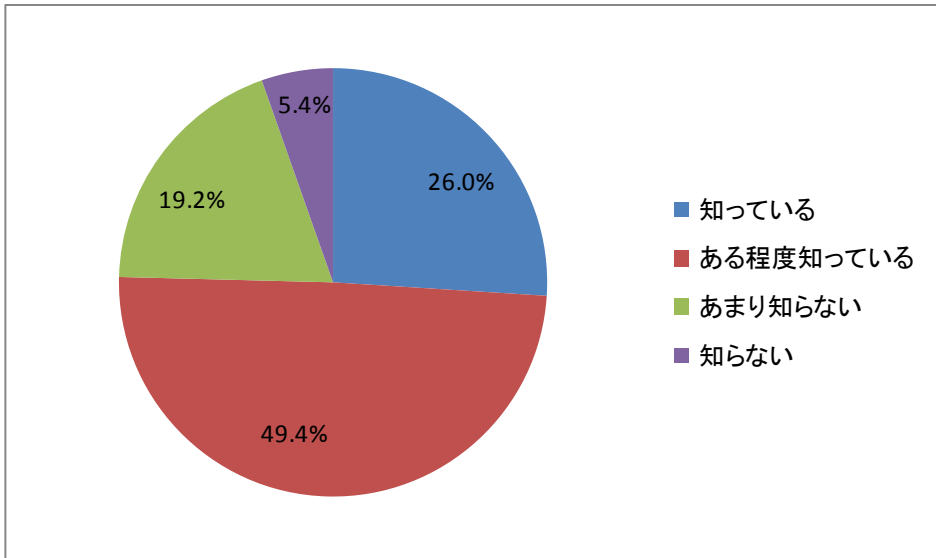
お住まいの地域にある医療機関が役割分担をしていることをご存知かどうかお聞きしたところ、「知っている」、「ある程度知っている」と答えた方が 25.6%で、「知らない」、「あまり知らない」と答えた方の 74.3%を大きく下回りました。



● Q 4 「夜間や休日における対応について」

夜間や休日に急な発熱や体調不良になった場合、どのように対応すれば

いかご存知かどうかお聞きしたところ、「知っている」、「ある程度知っている」と答えた方が 75.4%で、「知らない」、「あまり知らない」と答えた方の 24.6%を大きく上回りました。

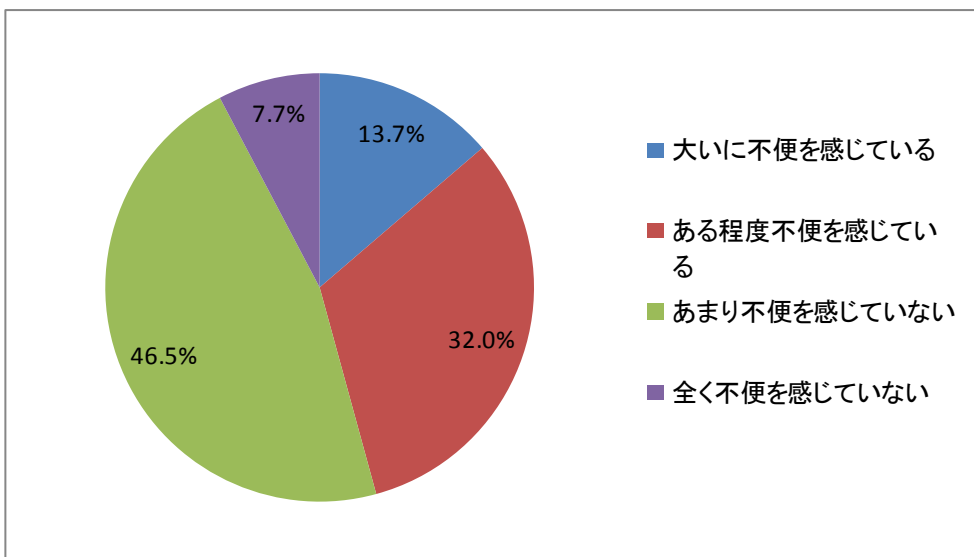


● Q 5 「地域の医療機関の情報について」

普段からお住まいの地域にある医療機関の診療内容や、予防接種や各種健診の実施などに関する情報等入手することができるかどうかお聞きしたところ、「入手することができる」、「ある程度入手することができる」と答えた方は 77.3%で、「入手することができない」、「あまり入手することができない」と答えた方の 22.6%を大きく上回りました。

● Q 6 「医療機関へのアクセスについて」

日常生活をするうえで、医療機関へのアクセス（交通の便や専門医の配置など、医療機関へのかかりやすさ）に不便を感じているかどうかお聞きしたところ、「大いに不便を感じている」、「ある程度不便を感じている」と答えた方が 45.7%で、「全く不便を感じていない」、「あまり不便を感じていない」と答えた方が 54.2%となり、「不便を感じている」と「不便を感じていない」が拮抗する結果となりました。



まとめ

今回のアンケートでは、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域医療提供体制の確保を図っていくうえで、現在、県民の皆さまが医療に対してどのような所感をお持ちになり、どのような行動を取られているかをお聞きしました。アンケート結果からは、医療機関の役割分担についてあまりご存知でないことや、医療機関へのアクセスに一定割合の方が不便を感じていることがわかりました。

三重県では、このアンケート結果を参考にして、県民の皆さまの地域医療に対する安心感を指数化し、医師や看護師等の医療従事者の確保や、地域間等の医師の偏在解消とともに、病床の機能分化・連携等を進めていく中で、これらの取組の成果として、この指数の向上をめざしていくこととしています。また、県民の皆さまがより主体的に行動できるよう、県の取組等をわかりやすくお伝えするなどの情報共有にも努めてまいります。

今後とも、保健医療施策の推進にご協力をいただきますようお願い申し上げます。